

理研シンポジウム「第12回 分析・解析技術と化学の最先端」プログラム

2011年12月13日(火) 鈴木梅太郎記念ホール

12:50-12:55 開会の挨拶

(座長 理研基幹研 橋爪 大輔)

12:55-13:25 西浦 正芳 理研基幹研

「新規希土類触媒の開発と高選択的高分子合成への応用」

(座長 理研基幹研 仲村 高志)

13:25 -14:05 三好 利一 The University of Akron, USA

「固体 NMR 法による高分子結晶のミクロな世界」

(座長 理研基幹研 本郷やよい)

14:05 -14:45 中島 陽司 旭硝子・中研

「高分解能 TOFMS による機能性有機材料の詳細構造解析：技術開発の実際と将来展望」

(座長 理研基幹研 高橋 俊哉)

14:45 -15:25 山下 まり 東北大院農

「LC/MS を用いた海洋天然物に関する最近の研究」

休憩 15:25 - 15:45

(座長 理研基幹研 中村 健道)

15:45- 16:25 明石 知子 横浜市大

「質量分析で観るタンパク質の姿」

(座長 理研基幹研 越野 広雪)

16:25 - 17:05 佐藤 寛子 国立情報研

「ピラノシドのエキソ・エンド開裂反応に関する理論研究の最近の成果について」

17:05 - 17:45 永野 真吾 鳥取大院工

「インドロカルバゾール生合成酵素群の結晶構造から見えてきた生合成の仕組みと戦略」

ミキサー： 理研 広沢クラブ 18:00 ~